



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-5930-5	版	3.00
発行日	2023/07/25	前発行日	2023/05/08

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

クリンプロ™ 歯みがき ペースト F1450

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

歯科用製品

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

環境

##### ピクトグラム



**危険有害性情報**

H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

**注意書き**

**安全対策**

P273 環境への放出を避けること。

**応急措置**

P391 漏出物を回収すること。

**廃棄**

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シリカ	7631-86-9	20 - 30
ソルビトール ; D-ソルビトール	50-70-4	20 - 30
水	7732-18-5	20 - 30
グリセリン	56-81-5	10 - 20
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	< 1.5
カルボキシシルメチルセルロースナトリウム	9004-32-4	< 1.5
香料	営業秘密	< 1.5
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	< 1.0
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.70
フッ化ナトリウム	7681-49-4	0.32

### 4. 応急措置

**応急措置**

**吸入した場合**

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

**皮膚に付着した場合**

暴露した場合、石鹸と水で洗浄する。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ

の後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

炭化水素類  
一酸化炭素  
二酸化炭素  
刺激性蒸気あるいはガス

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。

### 保管

特別な保管条件はない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (推奨)(8時間):0.3mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	56-81-5	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	56-81-5	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
フッ化物	7681-49-4	ACGIH	TWA (フッ素として) : 2.5mg/m <sup>3</sup>	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

## 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

特に必要としない。

### 皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

使い捨て式防じんマスクまたは取替え式防じんマスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	白色
臭い	ミント
臭いの閾値	データはない。
pH	6.3 - 7.3
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	適用しない
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.28 - 1.34 g/ml
比重	データはない。
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	100,000 - 380,000 mPa-s

揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

知見はない。

#### 混触危険物質

知見はない。

#### 危険有害な分解物

##### 物質

##### 条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 吸入した場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

##### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

#### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ソルビトール；D-ソルビトール	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ソルビトール；D-ソルビトール	経口摂取	ラット	LD50 15,900 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 > 27,000 mg/kg
ラウリル硫酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 911 mg/kg
ラウリル硫酸ナトリウム	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 5.09 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
フッ化ナトリウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フッ化ナトリウム	吸入-粉塵/ミスト	ラット	LC50 1 mg/l
フッ化ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 148.5 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	ヒト	刺激性なし
ラウリル硫酸ナトリウム	ウサギ	刺激物
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
フッ化ナトリウム	公的な分類	刺激物

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ウサギ	刺激性なし
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	ウサギ	刺激性なし
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	ウサギ	刺激性なし
ラウリル硫酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
フッ化ナトリウム	ウサギ	腐食性

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	ヒト	区分に該当しない。
ラウリル硫酸ナトリウム	類似化合物	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	モルモット	区分に該当しない。

#### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

#### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シリカ	In vitro	変異原性なし
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	In vitro	変異原性なし
ラウリル硫酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
ラウリル硫酸ナトリウム	In vivo	変異原性なし

#### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性

#### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350	器官発生期



				mg/kg/日	
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1 g/kg 摂餌量中	3 世代
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1 g/kg 摂餌量中	3 世代

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ラウリル硫酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
フッ化ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シリカ	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系   心臓   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
カルボキシシメチルセルロースナトリウム	経口摂取	血液   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1 g/kg in the diet	25 月
ラウリル硫酸ナトリウム	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,840 mg/kg/day	90 日
フッ化ナトリウム	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フッ化ナトリウム	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 0.33 mg/kg/day	環境暴露。

## 誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビトール；D-ソルビトール	50-70-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	9004-32-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	87.26 mg/l
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	9004-32-4	ニジマス	実験室	96 時間	EC50	>20,000 mg/l
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	液状化	実験	3 時間	EC50	135 mg/l
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	30.2 mg/l
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	2.8 mg/l
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	魚	実験	96 時間	LC50	0.59 mg/l

ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	緑藻類	実験	96 時間	EC50	117 mg/l
ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	無脊椎動物	実験	48 時間	LC50	1.9 mg/l
ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1.4 mg/l
ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	42 日	NOEC	1.357 mg/l
ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	緑藻類	実験	96 時間	EC10	12 mg/l
ラウリル硫酸 ナトリウム	151-21-3	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.88 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	藻類または他 の水生植物	実験	96 時間	EC50	95 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	無脊椎動物	実験	96 時間	EC50	57 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	238 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	ニジマス	実験	21 日	NOEC	8 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	8.2 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	土壌微生物	類似コンパウ ンド	63 日	NOEC	106 mg/kg (乾燥重 量)
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	該当なし	実験	126 日	NOEC	800 mg/kg (乾燥重 量)
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	231 mg/l
フッ化ナトリ ウム	7681-49-4	シマミミズ	実験	154 日	NOEC	1,200 mg/kg (乾燥重 量)
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	金魚	実験	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l

					い	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ゼブラフィッシュ	実験	23 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビトール ; D-ソルビトール	50-70-4	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	81 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	80-90 %BOD/ThOD	
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	9004-32-4	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	25 %BOD/ThOD	OECD 301A - DOC Die Away 試験
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	95 CO2発生量 / 理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
フッ化ナトリウム	7681-49-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビトール ; D-ソルビトール	50-70-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2.20	
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.76	

ポリオキシエチレン水添ヒマシ油	61788-85-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.76	
カルボキシルメチルセルロースナトリウム	9004-32-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤-2.03	
フッ化ナトリウム	7681-49-4	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	≤ 6.4	OECD305-生体濃縮度試験
酸化チタン (IV)	13463-67-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3077 環境有害物質 (固体)

輸送分類 (IMO) : 9 その他の有害性物質

輸送分類 (IATA) : 9 その他の有害性物質

容器等級 : III

#### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）  
 労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物  
 労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）  
 船舶安全法、航空法：有害性物質  
 海洋汚染防止法：環境有害物質  
 本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカに該当しない。

**主な法規制物質**

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
フッ化ナトリウム	弗素及びその水溶性無機化合物	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当

**16. その他の情報**

**改訂情報**

- セクション 3：成分表 情報修正.
- セクション 1 2：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1 2：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1 5：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。